

信楽高原鐵道の経営再生にかかる進捗状況等について

1 鉄道事業再構築実施計画について

○H25.3.4 国土交通大臣が鉄道事業再構築実施計画を認定

【鉄道事業再構築実施計画】

申請者	甲賀市、信楽高原鐵道、滋賀県
計画内容	① 事業構造の転換(甲賀市:鉄道施設を保有し施設維持管理費用を負担、信楽高原鐵道:列車を運行)【上下分離方式】 ② 地域による利用促進策の実施
実施期間	平成25年度から平成34年度までの10年間
実施効果	① 信楽高原鐵道における鉄道施設等の維持管理費用の負担軽減 ② 地域と連携した積極的な増収施策等の展開による、収支均衡と安全で安定した運行の維持

○H25.4.1 「公有民営方式」の上下分離による運行開始

2 旅客輸送実績

() 内は1日当たり換算

	平成 29 年度 (2017)	平成 30 年度 (2018)	前年度比
通学定期	248,820 人 (681 人)	237,480 人 (650 人)	△11,340 人 (△31 人)
通勤定期	52,500 人 (143 人)	59,280 人 (162 人)	6,780 人 (19 人)
定期外	123,277 人 (337 人)	119,860 人 (328 人)	△3,417 人 (△ 9 人)
合計	424,597 人 (1,163 人)	416,620 人 (1,141 人)	△7,977 人 (△22 人)

※ 少子化による学生利用の減等により、定期利用者数が減少

※ 平成 29 年度は「陶芸の森」と連携した「えんとつ町のプペル展」協賛ラッピング列車の運行、観光事業者との連携や企画切符等の販売増により定期外利用者数が増加

3 経営状況

(千円)

	平成 29 年度 (2017)	平成 30 年度 (2018)	前年度比
經常収入	161,106	162,937	1,831
うち旅客収入	86,565	85,641	△ 924
經常費用	155,748	158,146	2,398
經常利益	5,358	4,791	△ 567

※ 上下分離方式への移行後、6年連続で經常黒字を達成

4 平成30年度の主な取組について

○安全な輸送サービスの提供

- | | |
|----------|--|
| 【甲賀市】 | <ul style="list-style-type: none">・ 車両全般検査の実施・ 枕木交換、橋りょう塗装、信楽駅ホーム改良工事 |
| 【信楽高原鐵道】 | <ul style="list-style-type: none">・ 旅客輸送業務・ 鐵道施設等の保守・維持管理 |



○経営改善・合理化の推進

- | | |
|----------|------------------------|
| 【甲賀市】 | 鐵道事業再構築実施計画の中間ふりかえりの実施 |
| 【信楽高原鐵道】 | 営業費の経費節減 |

○鐵道の利用促進

- | | |
|----------|---|
| 【信楽高原鐵道】 | 甲賀市と連携した団体誘客推進
地元観光イベント、旅行会社と連携した営業活動
ふれあいハイキング（JR西日本と連携）
「陶製干支切符」の販売、田んぼアートの実施
石原和幸ガーデニング信楽焼プロジェクト
サンタ列車の運行 |
|----------|---|



【石原和幸ガーデニング信楽焼プロジェクト】



【うしかい田んぼアート】

5 令和元年度の主な取組について

- | | |
|----------|--|
| 【甲賀市】 | 車両全般検査、枕木交換、橋梁塗装、ホームの改良（紫香樂宮跡、玉桂寺前） |
| 【信楽高原鐵道】 | 旅客輸送業務、鐵道施設等の保守・維持
鐵道の利用促進 <ul style="list-style-type: none">・ SHINOBI-TRAIN の運行・ 観光客向けのノベルティやグッズ開発・ 旅行会社、バス会社への営業活動・ 牛飼地区での「田んぼアート」事業による沿線景観の創出・ 駅前陶器市と連携した観光誘客・ 甲賀市スカーレット推進事業との連携による観光誘客 |